

令和 7 年 12 月 18 日

◆谷口かずふみ委員

私からは、キャッシュレス決済のポイント還元について、お伺いしていきたいというふうに思います。

これまでも、先行会派の皆さんからも質疑ありましたが、県外の方も使える、使えないというところなんですけれども、まず、かながわ P a y のときは、いわゆる県民以外の方も使えたということなんです、このとき、なぜ県民以外の方も使える仕組みにしたのか、そののちょっとまず理由を確認させてください。

◎中小企業支援課長

すみません、ちょっと今、理由について即答を、こうこうこういう理由で県外の方も対象にしましたということ、ちょっとお答えできないんですけれども、一つは、やはり県民に限定させようとする、例えば一つのやり方として、本人の顔写真と身分証明書を送らせるやり方、あとは、マイナンバーカードとひもづけるやり方、その 2 種類があるように、事業者から、どちらかですというふうに聞いておりますので、そういったところ、一つプロセスがまた必要になってくるという問題があったかなというふうに推測がされます。

◆谷口かずふみ委員

私が期待していたのは、多分、県内事業者の支援というところをおっしゃるのかなと思ったんですけど、今回も県内事業者の支援ということも消費者の負担軽減と併せて目的が書かれていますけれども、かな P a y のときは、そういうふうにやったということなんです、私そのとき、1 弾、2 弾、3 弾と経験していく中で、特に 1 弾はなかなか集まらなくて大変で、2 弾、3 弾で急激に、皆さんの努力もあって広がったということがあったと思うんですが、先ほどお話であったように、特に第 3 弾はもう 40 日で終わってしまっていて、あつという間に、もう終わりましたという表示がアプリの中に出て、使えなくなってしまったということを見ると、限られた予算の中で、事業者支援ということ、観点を含んだ上でも、やっぱり県民に限るというふうにしたほうがいいというふうに思っています。

特に、今ちょっと調べていたら、東京都さんはいち早く、11 月 28 日ですかね、もう既に補正予算を発表して、東京アプリを使って 7,000 ポイントを既にもうやると言っていたところに、4,000 ポイント上乘せする、多分これ、恐らくこの 4,000 ポイントが国費なのかなとちょっと勝手に想像しているんですけど、憶測ですけどもね。

で、今ちょっと東京都の発表を見ると、東京アプリ生活応援事業で 450 億円を計上しています。仮に 7,000 ポイントが東京都単独で、もともとやろうとしていたことで、4,000 ポイントは国のお金を、今回のお金を使ったとすると、11 分の 4 を掛けると大体 163 億円ぐらいになるんですね。だから、規模的には一

緒です。

一方で、この東京アプリの生活応援事業のポイント還元は、これ都民に限るんですよ。東京アプリにマイナンバーカードを読み込ませて、それを今これからやって、それをやってくれれば500ポイントくれるのかな、といって、東京アプリにマイナンバーカードを入れさせるという、システムのチェックも含めて、ちゃんと作動するかどうかを含めて、これからやっていくということなんですけれども、いずれにしても、東京都民しか使えないです。

となると、やっぱりここは何とかして、今回のキャッシュレスのポイント還元については、これは何とか工夫をして、ぜひこれは県民に限るというふうに。でないと、東京都さんは1万1,000ポイント、仮に4,000が国費だとして4,000ポイントもらえるのに、それは都民だけで、我々が東京行って使おうとしても使えない。だけど、東京の方は、こっちに来れば神奈川の予算として出しているものを使えるというのは、ちょっとこれは不公平ではないかな。

あと、これだけキャッシュレスが進んできて、かなP a yも最後はもう40日でなくなって、あつという間だったということを考えると、別に県民以外の方を入れなくても、ちゃんと160億使い切れば、これは県内の事業者支援になると思うので、例えば、ない知恵を絞って今考えたんですけれども、例えばP a y P a yとか、a u P A Yとか、d払いとか、そういう事業者さんが持っている、その個人の持っている、当然住所を登録しているはずですから、多くは恐らくクレジットカードにひもづけていたりとかするので、何とか工夫して、ポイント還元をさせるときに、それは神奈川県在住者ですよという、何かちょっとこう一つ工夫するような、何かそういうことをぜひ考えてもらいたいと思うんですが、いかがでしょうか。

◎中小企業支援課長

先ほどの答弁で申し上げましたとおり、プロセスが一つ加わることになります。

一方で、今回の物価高騰対策、先ほど来、委員の皆様からスピード感ということも求められております。

今後、公募型で事業者から提案を募っていくに当たって、そこをどう評価するかということは総合的に考えていきたいと思っております。

◆谷口かずふみ委員

すぐお答えは難しいと思いますけれども、ぜひその観点も入れて、この仕様のスペックのところは検討、公募のスペックのところは検討していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。